



# 輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



## 第 66 回小野市学童展！その頑張りに拍手!!今夜は「皆既月食」!!!

— Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続) —

今日は、七十二候でいう「山茶始開（つばきはじめてひらく）」です。サザンカの花が咲き始める頃ということです。また、今夜は「皆既月食」です。国立天文台によると、①部分食の始まり 18 時 09 分、②皆既食の始まり 19 時 16 分、③食の最大 19 時 59 分、④皆既食の終わり 20 時 42 分、⑤部分食の終わり 21 時 49 分となっています。さらに、月食中の赤銅色の月に天王星が隠れる「天王星食」も同時に楽しむことができます。次の「皆既月食」は 2025 年 9 月 8 日で、約 3 年後となっています。是非、今夜、東の空の一大天体ショーをお子様とご覧いただければと思います。

さて、先週、11 月 5 日（土）、6 日（日）の両日、小野市学童展が小野市伝統産業会館で開催されました。学童展は、保護者の皆様にとっても思い出深いものであり、出展されたご経験、ご覧になられたご経験もおありかと思います。市内の小・中学校の児童・生徒の書写、図画工作の作品が展示されます。小野市教育の秋の文化的行事の代表的なものです。以前は、特選、入選の賞がありました。しかし、昨年より、多くの作品にふれ、芸術的な視野を広げる良い機会とするという展覧会の大きな趣旨を踏まえ、その賞については無くなっております。会場を訪れると、本当に多くの方がご来場されており、熱心に子供達の作品をご覧になっておられました。お孫さんの作品を見に来られたというご年配の方もおられました。また、昨年、今は学齢期のご家族はおられないのだけれども、この学童展を楽しみにしておられ、毎年、欠かさず来ていますと仰っておられた方もおいでになりました。きっと、今年も楽しみにご来場いただいたのではないかと思います。子供達の作品を見ながら、ここまでどれほどのことが

あったのだろう、その道のりについて思いました。恐らく、多くの子供達は、書写であれば、この作品が出来上がるまでに、何度も、何度も、この字を書いたに違いありません。納得のいかない時、納得のいく時、それぞれあったことでしょう。ひょっとしたら、納得がいかない日の方が多かったかもしれません。もっとよくなるようにとの願いから、周りの人達からの厳しい指導があったかもしれません。それでも、毎日、毎日、筆を持ち、練習し、「今日の一枚」として、出来た作品を学校に届けてくれたに違いありません。絵画では、対象を何にするか、構図について何度も考え、彩色・濃淡については自分なりの工夫を施したことでしょう。私たちが想像する以上に、何時間、いや何日もかけて仕上げたことと思います。一つの作品を作り上げる為に、人により、ご家庭により、学校により、学級により、その指導は様々な方法で行われたものと思います。その道のりが、その過程が、この学童展に続いているのです。このように一つ一つの子供達の作品には、その子供の努力や思い、その子らしさがいっぱい詰まっているものです。一つ一つの作品を見ながら、そんなことを思いました。本校の児童も、学童展の最終締め切り日まで、日々、努力し、真面目に、誠実に取り組んでいる姿をたくさん見る事ができました。本当に素晴らしいことだと思います。そして、ご家庭においても、子供達のこの頑張りを一生懸命支えてくださったものと思います。しんどくて挫折そうな時、きっと、頑張ろうとあたたかい声で、何気ない、さり気ない言葉で、子供達の背中を押していただいたに違いありません。多くの方に支えられ、そのお陰で、子供達は歩みを進めることができたに違いありません。厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症については、なかなか収束とはいかず、第 8 波の声も聞かれ始めました。中番小学校としては、「恐れず、正しく、適切に。」を基本に据え、日々の感染対策を徹底していきます。保護者の皆様には、ご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。